

研究テーマ・サブテーマ

研究テーマ 「子どもたちの確かな学びを支援する学校事務」
サブテーマ ～リーダーシップ de 組織開発～

令和2年7月に文部科学省から発出された「事務職員の標準的な職務の明確化に係る学校管理規則参考例等について」に基づき、令和2年12月に「福井県公立小・中学校事務職員の標準的職務表の改正について」が福井県教育委員会から通知されました。新しい標準的職務表には、従来の職務内容に加え、危機管理や教育活動に関する内容等が学校運営の分野に大きく盛り込まれ、学校組織の中核的役割を果たす職員として、私たち事務職員の力がますます求められていると感じる内容となっています。コロナ禍において、変わりゆく生活様式や学校を取り巻く環境への対応や子どもたちにとっての最良、最適の方法を考える上で、財務をはじめとする経営資源の有効活用や情報収集・情報活用、および的確な判断は、健全な学校運営の重要な要素の一つとなります。事務職員が総務・財務に精通する専門職として、リーダーシップをとって円滑な学校組織へと導いていくことができるよう、事務職員自身のさらなる意識の向上と覚悟、そしてそれらに伴う主体的な行動と実践スキルの向上が重要となります。また、標準的職務表の改正等、私たちの職務の基盤となる規則や制度面での後ろ盾も重要な要素です。その「意識と覚悟」「実践スキル向上」「体制整備」の3つを継続して強化していくことで、私たち事務職員がリーダーシップを発揮し、学校組織をよい方向へと導いていける働きかけや行動ができると考えます。

周囲へのさらなるアプローチと連携を通し、これまでの実践を学校組織の改善と教育活動の活性化につなげていけるよう、新たな一歩を踏み出し、子どもたちの笑顔につながるよりよい方策を提言していける学校事務職員を目指します。

研究の柱

- 1 学校組織を円滑に機能させていくための意識改革や主体的な行動実践の促進
- 2 学校組織の改善に向けての事務職員のリーダーシップの在り方や具体的な働きかけの追究
- 3 専門性を活かしてより主体的、積極的に学校運営に参画できるための体制整備の追究

活動内容・活動概要

- 1 教育情勢の変化や多様化する学習形態に対応し、よりよい教育環境をつくるために、子どもたちの学習環境の整備等を通して教育支援や業務改善につながる実践を推進していきます。
- 2 改訂した学校事務グランドデザイン「つぐみ」を指針とし、未来志向で、「できる方法はないのか」「どうやって突破するか」を考え、他職や地域、関係機関等との関わりの中で学校事務職員が果たすべき役割を追究していきます。事務職員が力量を備え、より学校の中核的な分野で主体的・積極的に学校運営に参画できるように、体制整備や実践スキル向上に向けての情報発信や支援を行います。

今年度の主な研究活動

- 1 学校組織の機能強化のための実践および行動変革の推進と支援
- 2 研究部通信「Next Step」やホームページ「きらり」等による情報発信
- 3 グランドデザイン「つぐみ 2022」の共通理解と活用促進
- 4 標準的職務表の市町学校管理規則への位置づけの推進と支援